

# 水道事業経営状況について

## 1. 水道事業の概要

名寄市の水道事業は、昭和 32 年の創設事業から始まり、平成 7 年度からは給水区域の拡張による新たな水需要の増加と浄水場施設の更新を目的に第 2 期拡張事業開始しております。

平成 28 年 4 月には特別会計として経営していた 3 地区（智恵文中央、智恵文八幡、風連日進）の簡易水道事業を事業統合して今日に至っています。

また、緑丘浄水場から風連浄水場への送水による安定的な水供給に向けて送水管布設工事を実施し、令和 2 年 5 月に水利権変更の許可を受け、同年 6 月から供給を開始しています。

※令和 5 年度末現在

【事業創設認可年月日】	《名寄》	昭和 32 年 3 月
	《風連》	昭和 36 年 6 月
【供用開始年月日】	《名寄》	昭和 35 年 11 月
	《風連》	昭和 36 年 12 月
【計画給水人口】	25,820	人
【現在給水人口】	22,800	人
【給水戸数】	12,416	戸
【浄水場数】	6	浄水場
	(緑丘浄水場・川西浄水場・瑞穂 浄水場・智恵文中央浄水場・智恵 文八幡浄水場・風連日進浄水場)	
【管延長】	導水管	3,820m
	送水管	9,860m
	配水管	344,400m
【配水能力】	12,080	m <sup>3</sup> /日
【1日最大配水量】	8,450	m <sup>3</sup> /日
【年間総配水量】	2,698,161	m <sup>3</sup>
【年間総有収水量】	2,119,232	m <sup>3</sup>
【有収率】	78.54	%

※給水戸数、管延長は「地方公営企業決算状況調査」（総務省）報告値による。



緑丘浄水場



風連浄水場  
(緑丘浄水場から受水)



川西浄水場



瑞穂浄水場



真勲別頭首工



智恵文中央浄水場



智恵文八幡浄水場



風連日進浄水場

## 2. 令和6年度予算進捗状況と令和7年度予算の概要

### (1) 収益的収支

令和6年度については、人口減や使用水量の減に伴う給水収益の減少のほか、物価上昇の影響による委託料や動力費が増加したため、令和6年度は10,606千円の純損失となる見込みです。

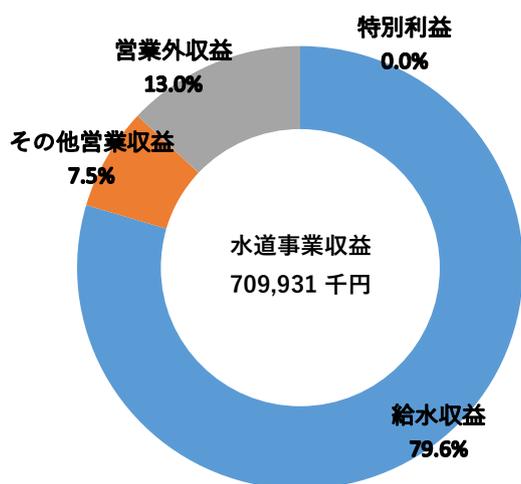
また、令和7年度については、人口減少等の影響はあるものの料金改定による給水収益の増が見込まれるため、25,422千円の純利益となる見込みです。

【収益的収支】

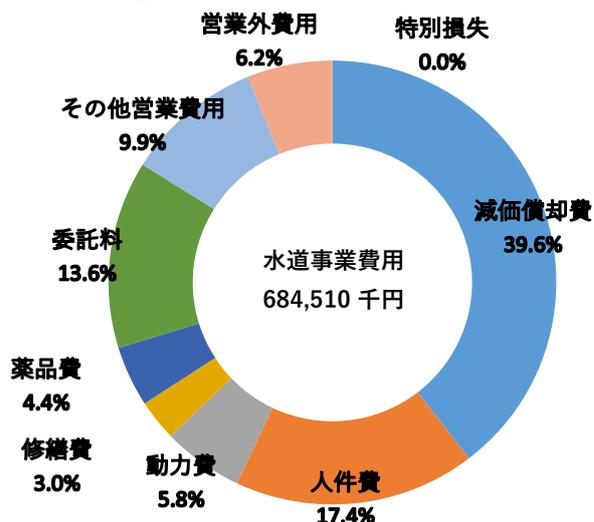
(単位：千円[税抜])

科目	R 6 当初予算	R 6 決算見込み (補正後)	R 7 予算	R 6 当初予算と R 7 予算の差額	増減率
経常収益	644,193	642,861	709,931	65,738	9.26%
営業収益	558,171	556,465	617,723	59,552	9.64%
うち給水収益	510,862	510,862	564,759	53,897	9.54%
営業外収益	86,022	86,396	92,208	6,186	6.71%
経常費用	652,974	653,467	684,509	31,535	4.61%
営業費用	610,915	611,254	642,190	31,275	4.87%
営業外費用	42,059	42,213	42,319	260	0.61%
経常損益	△ 8,781	△ 10,606	25,422	34,203	-
特別利益	1	0	1	0	0.00%
特別損失	1	0	1	0	0.00%
当年度純損益	△ 8,781	△ 10,606	25,422	34,203	-
前年度繰越利益剰余金	123,432	139,761	129,155	5,723	4.43%
当年度末処分利益剰余金	114,651	129,155	154,577	39,926	25.83%

R 7 水道事業収益の構成割合



R 7 水道事業費用の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

## (2) 資本的収支

令和6年度の主な事業としては、検針サイクル統一を図る水道スマートメーター化工事や、老朽化に伴う計画的な改修のため老朽管更新事業及び浄水場施設改修事業を行いました。

令和7年度の主な事業としては、前年度同様に老朽管更新事業及び浄水場施設改修事業を行う予定です。また、事業費は資材単価の上昇により増加傾向にあります。設備の劣化状況や重要度などから整備個所を選定して計画的な改修を行います。なお、再投資が必要な老朽化施設の改修費用については、計画的な更新により費用の平準化を図るとともに、企業債などを活用して単年度の負担軽減を図ります。

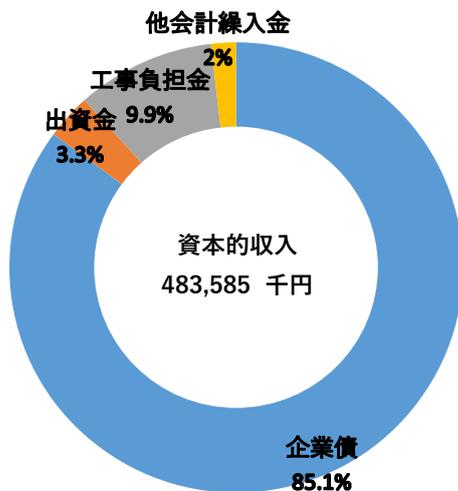
【資本的収支】

(単位：千円[税込])

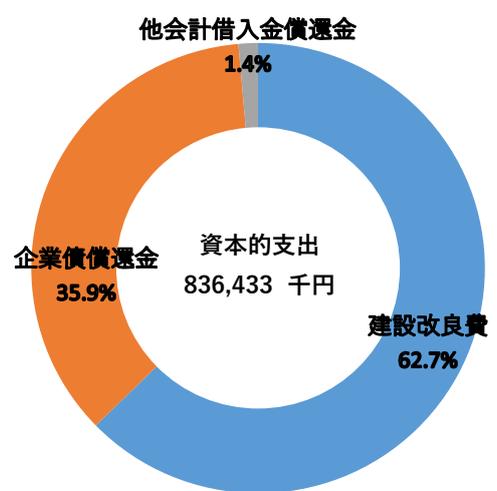
科目	R 6 当初予算	R 6 決算見込み (補正後)	R 7 予算	R 6 当初予算と R 7 予算の差額	増減率
資本的収入	429,928	414,617	483,585	53,657	11.10%
企業債	296,500	277,600	411,500	115,000	27.95%
出資金	16,219	16,043	15,721	△ 498	△ 3.17%
工事負担金	67,033	74,895	47,829	△ 19,204	△ 40.15%
他会計繰入金	50,176	46,079	8,535	△ 41,641	△ 487.89%
資本的支出	781,168	767,946	836,433	55,265	6.61%
建設改良費	471,857	458,812	524,414	52,557	10.02%
企業債償還金	297,671	297,494	300,379	2,708	0.90%
他会計借入金償還金	11,640	11,640	11,640	0	0.00%
資本的収支	△ 351,240	△ 353,329	△ 352,848	△ 1,608	△ 0.46%

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。

R 7 水道事業収益の構成割合



R 7 水道事業費用の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みます。

### (3) 令和6年度の主な建設改良事業

#### ◎配水管網整備事業《企業債》 4,796千円

配水管未整備地区や道路改良工事に合わせた配水管の新設を行う。

##### 【主な工事】

- ・西町南5丁目東仲通配水管網整備工事



配水管網整備工事

#### ◎老朽管更新事業《企業債》 128,238千円

耐用年数が経過した配水管を計画的に更新する。

令和6年度末現在、耐用年数（40年）の経過している管延長は113,636m。

##### 【主な工事】

- ・南10丁目右仲通老朽管更新工事
- ・西3条仲通老朽管更新工事
- ・国道40号老朽管更新工事
- ・13線排水路整備事業に伴う配水管布設替工事
- ・北西6条仲通老朽管更新工事
- ・東4条仲通老朽管更新工事
- ・東4条仲通の1老朽管更新工事



老朽管更新工事

#### ◎浄水場施設改修事業《企業債》 173,558千円

- ・緑丘浄水場 創設薬品注入設備更新工事
- ・風連浄水場 No.3配水ポンプ更新工事
- ・緑丘浄水場 次亜貯留槽更新工事
- ・緑丘浄水場 電気設備更新工事（1期）
- ・緑丘浄水場 1 拡凝集pH計更新工事



緑丘浄水場 電気設備更新工事

◎水道量水器取替工事《工事負担金》 92,465千円

量水器（水道メータ）は計量法に基づき使用期限が製造から8年間と定められていることから、使用期限前に取替工事を行っている。

財源は、工事負担金（下水道事業と個別排水事業から台数按分）と自己財源。

【取替数】

- ・名寄地区 1,532個
- ・風連地区 145個
- ・智恵文地区 30個
- 合計 1,707個



量水器取替工事

◎水道スマートメーター化工事《工事負担金・国庫補助金・他会計補助金》 35,280千円

・財源は工事負担金（下水道事業と個別排水事業から台数按分）とデジタル田園都市国家構想交付金を活用。

【設置戸数】

- ・風連地区 1,426戸
- ・名寄郊外地区 252戸
- ・名寄市街地難検針箇所 72戸
- 合計 1,750戸

#### (4) 令和7年度の主な建設改良事業

◎配水管網整備事業《企業債》 9,900千円

- ・配水管網整備工事を予定

◎老朽管更新事業《企業債》 87,879千円

- ・老朽管更新工事を予定

◎配水設備整備事業《企業債》 15,268千円

- ・国道239号排泥弁設置工事等を予定

◎浄水場施設改修事業《企業債（一部）》 303,635千円

- ・緑丘浄水場電気設備更新工事（2期）ほか3工事を予定
- ・川西浄水場N o. 1 井戸改修工事を予定
- ・風連日進浄水場配水池水位計ほか更新工事を予定
- ・智恵文中央浄水場2号井戸改修工事を予定

◎水道量水器取替工事《工事負担金》 98,220千円

- ・名寄地区1,652台、風連地区128台の交換工事を予定量水器（水道メータ）交換工事を予定



投資・財政計画  
(収支計画)

(単位:千円)

区分	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度	
	計画	決算	計画	決算見込	計画	修正予算	計画	予算		
1. 企業費平準化債 うち資本費平準化債	274,000	307,800	33,800	210,400	△ 64,700	404,400	277,600	414,500	△ 3,000	405,300
2. 他会計出資金	13,676	14,174	498	12,902	1,061	12,511	16,043	13,185	15,721	2,536
3. 他会計補助金	9,084	9,815	731	8,540	2,736	8,604	42,834	8,234	8,535	301
4. 他会計負担金	3,575	3,443	△ 132	3,575	880	2,497	3,245	500	△ 500	500
5. 他会計借入金										
6. 国(都道府県)補助金										
7. 固定資産売却代金	34,173	29,456	△ 4,717	41,584	5,127	37,355	74,895	41,722	47,829	6,107
8. 工事負担金		5,103	5,103							
9. その他	334,508	369,791	35,283	283,008	△ 54,896	465,367	414,617	478,141	483,585	5,444
(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額										
(B)										
1. 建設改良費	334,508	369,791	35,283	283,008	△ 54,896	465,367	414,617	478,141	483,585	5,444
(C)	377,200	395,040	17,840	326,940	△ 70,379	502,778	458,812	514,727	524,414	9,687
うち職員給与費										
2. 企業償還金	276,548	275,372	△ 1,176	282,694	△ 3,830	303,254	297,494	310,404	300,379	△ 10,025
3. 他会計長期借入返還金	11,640	11,640		11,640		11,640	11,640	11,640	11,640	10,630
4. 他会計への支出金										
5. その他										
計	665,388	682,052	16,664	621,274	△ 74,209	817,672	767,946	836,771	836,433	△ 338
(D)										
資本的収入額が資本的支出額に不足する額	330,880	312,261	△ 18,619	338,266	△ 19,313	352,305	353,329	358,630	352,848	△ 5,782
(E)										
1. 損益剰定留保資金	299,691	279,490	△ 20,201	325,236	△ 12,611	310,089	311,619	315,625	310,164	△ 5,461
2. 利益剰余金処分額										
3. 繰越工事資金										
4. その他	31,189	32,771	1,582	25,641	△ 6,702	42,216	41,710	43,005	42,684	△ 321
計	330,880	312,261	△ 18,619	338,266	△ 19,313	352,305	353,329	358,630	352,848	△ 5,782
(F)										
補填財源不足額		67,805		56,165		44,525	44,525	32,885	32,885	
(E)-(F)										
他会計借入金残高	67,805	67,805		56,165		44,525	44,525	32,885	32,885	
(G)										
企業債残高	3,546,979	3,571,631	24,652	3,499,337	△ 36,218	3,636,701	3,479,443	3,740,797	3,590,564	△ 150,233
(H)										

(単位:千円)

○他会計繰入金

区分	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度	
	計画	決算	計画	決算見込	計画	修正予算	計画	予算		
1. 収益的収支分	21,082	89,268		16,279		21,152	18,232	20,966	22,084	20,928
うち基準内繰入金	9,934	10,759	825	8,161	△ 1,874	10,134	8,157	10,003	7,763	△ 2,240
うち基準外繰入金	11,148	78,509	67,361	8,118	△ 2,948	11,018	10,075	10,963	14,321	3,358
資本的収支分	26,336	27,432		25,897		23,612	62,122	21,919	24,256	29,176
うち基準内繰入金	11,675	12,041	366	10,380	2,046	9,363	10,616	7,212	10,106	2,894
うち基準外繰入金	14,661	15,391	730	10,841	2,630	14,249	51,506	14,707	14,150	21,902
計	47,418	116,700	42,322	42,176		44,764	80,354	42,885	46,340	50,104

## 下水道事業経営状況について

### 1. 下水道事業の概要

名寄市の下水道事業は、名寄処理区と風連処理区に分かれており、名寄処理区では昭和 46 年より建設を開始し、昭和 55 年から供用開始、風連処理区では平成 5 年より建設開始、平成 9 年から供用を開始しました。現在は 2 つの処理区ともに区域の拡大を終えたことから、下水道事業の役割は下水道の普及から下水道施設の維持管理や改築更新といった持続可能な下水道事業の運営を行うことになりつつあります。

令和 2 年 4 月からは官公庁会計である特別会計として経営していた下水道事業と個別排水処理事業を、経営状況や資産等を正確に把握するため、水道事業と同じ会計方式である公営企業として経営を行っています。

※令和 5 年度末現在

【建設着手年】	《名寄》	昭和 46 年
	《風連》	平成 5 年
【供用開始年】	《名寄》	昭和 55 年
	《風連》	平成 9 年
【処理区域内人口】	21,879	人（普及率 87.65%）
【水洗化人口】	21,529	人（水洗化率 98.40%）
【処理場数】	2 施設	
		名寄下水終末処理場
		風連浄水管理センター
【管渠延長】		197,156.05m
	合流管	43,304.37m
	污水管	130,437.49m
	雨水管	23,414.19m
【計画処理能力量（日最大）】	13,853	m <sup>3</sup> /日
【年間総処理水量】	6,206,876	m <sup>3</sup>
うち汚水処理水量	3,350,509	m <sup>3</sup>
うち雨水処理水量	2,856,367	m <sup>3</sup>
【年間総有収水量】	2,006,401	m <sup>3</sup>
【有収率】	59.88	%



名寄下水終末処理場



風連浄水管理センター

#### 【雨水公費、汚水私費の原則】

雨による浸水被害の軽減効果は広く市民に及ぶため、公費で負担をし、汚れた水をきれいにする費用は、汚れた水を流した人に負担してもらう受益者負担の考え方に基づいています。

#### 雨水は公費（税金）



#### 汚水は私費（使用料）



## 2. 令和6年度予算進捗状況及び令和7年度予算概要

### (1) 収益的収支

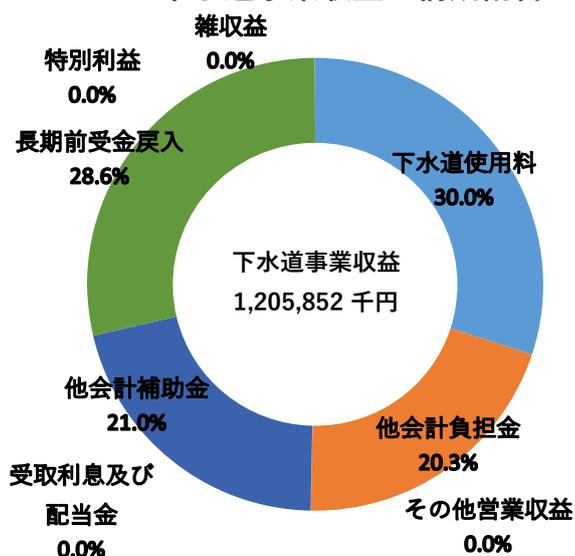
令和6年度については、当初予算から比較し、他会計補助金、長期前受金の増により営業外収益の増加が見込まれます。また、老朽化に伴う修繕費用の増により、営業費用の増加があったものの、最終的には36,278千円の純利益を見込んでいます。令和7年度については、令和6年度当初予算と比較し下水道使用料の減少が見込まれますが、減価償却費や資産減耗費、支払利息が減少したことなどにより、38,559千円の純利益を見込んでいます。

【収益的収支】

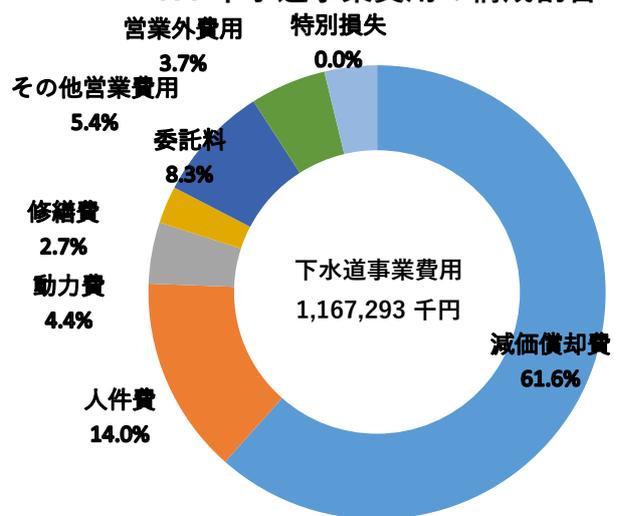
(単位：千円[税抜])

科目	R 6 当初予算	R 6 決算見込 (補正後)	R 7 予算	R 6 当初予算とR 7 予算の差額	増減率
経常収益	1,193,847	1,233,641	1,205,851	12,004	1.01%
営業収益	593,752	600,167	606,790	13,038	2.20%
うち下水道使用料	362,152	362,150	361,898	△ 254	△ 0.07%
営業外収益	600,095	633,474	599,061	△ 1,034	△ 0.17%
経常費用	1,151,890	1,197,363	1,167,292	15,402	1.34%
営業費用	1,105,475	1,151,524	1,124,043	18,568	1.68%
営業外費用	46,415	45,839	43,249	△ 3,166	△ 6.82%
経常損益	41,957	36,278	38,559	△ 3,398	△ 8.10%
特別利益	1	0	1	0	0.00%
特別損失	1	0	1	0	0.00%
当年度純損益	41,957	36,278	38,559	△ 3,398	△ 8.10%
前年度繰越利益剰余金	149,364	162,118	198,396	49,032	32.83%
当年度未処分利益剰余金	191,321	198,396	236,955	45,634	23.85%

R 7 下水道事業収益の構成割合



R 7 下水道事業費用の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みません。

## (2) 資本的収支

令和6年度の主な建設改良事業として、令和4年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水道施設の改築更新を行っています。主なものとして、名寄下水終末処理場管理棟建築電気施設の更新工事、名寄処理区下水道管渠の更生工事を実施しました。資本的収入については、建設改良事業の財源として企業債と国庫補助金を見込んでいます。

また、令和7年度の主な建設改良事業として、名寄下水終末処理場および風連マンホールポンプ所の電気設備更新工事を予定しています。資本的収入については、企業債、国庫補助金およびし尿等共同処理事業負担金を見込んでいます。

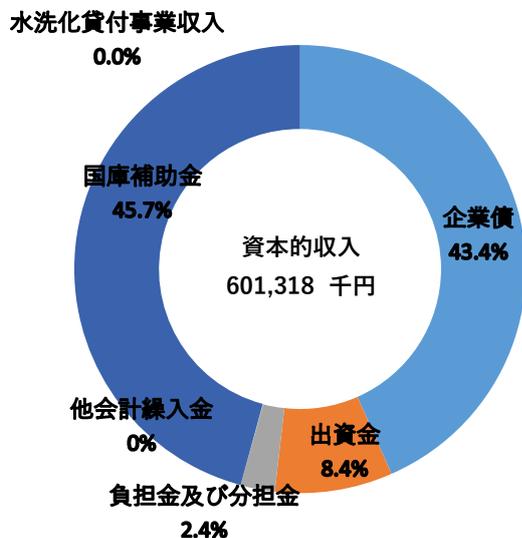
【資本的収支】

(単位：千円[税込])

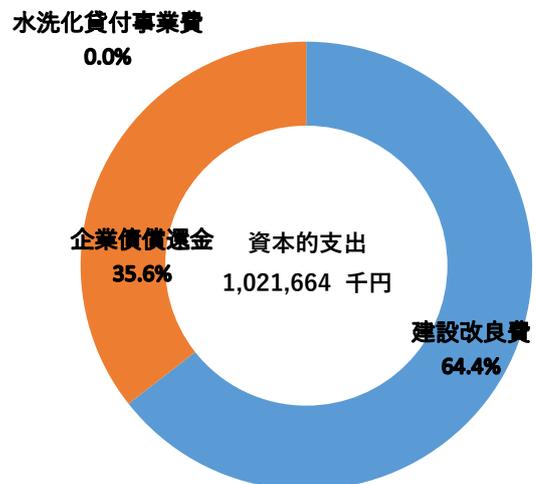
科目	R 6 当初予算	R 6 決算見込 (補正後)	R 7 予算	R 6 当初予算と R 7 予算の差額	増減率
資本的収入	585,800	347,068	601,318	15,518	2.65%
企業債	294,300	158,900	260,700	△ 33,600	△ 11.42%
出資金	49,761	49,761	50,729	968	1.95%
負担金及び分担金	1,818	754	14,668	12,850	706.82%
他会計繰入金	120	120	120	0	0.00%
国庫補助金	239,800	137,533	275,100	35,300	14.72%
水洗化貸付事業収入	1	0	1	0	0.00%
資本的支出	1,017,592	785,911	1,021,664	4,072	0.40%
建設改良費	631,445	399,765	658,167	26,722	4.23%
企業債償還金	386,146	386,146	363,496	△ 22,650	△ 5.87%
水洗化貸付事業費	1	0	1	0	0.00%
資本的収支	△ 418,524	△ 438,843	△ 420,346	△ 1,822	△ 0.44%

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補填します。

R 7 資本的収入の構成割合



R 7 資本的支出の構成割合



※図表中の数値については、表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合があります。

※金額は消費税及び地方消費税を含みます。

### (3) 令和6年度の主な建設改良事業

#### ◎名寄下水終末処理場外改築更新工事

《国庫補助金・企業債》

令和4年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水処理施設の改築更新事業を行ったほか、改築更新事業に向けた実施設計委託などを行った。

##### 【主な工事等】

・名寄下水終末処理場管理棟建築電気施設更新工事（照明器具）	79,640千円
・名寄下水終末処理場電気設備更新工事（計装設備）	27,280千円
・下水処理場施設改築更新実施設計業務委託	10,890千円
・名寄下水終末処理場機器単価調査業務委託	1,980千円
・名寄下水終末処理場管理棟耐震L2非線形解析業務委託	27,808千円 ※国庫補助金のみ
・名寄下水終末処理場滅菌棟外耐震診断業務委託	18,370千円 ※国庫補助金のみ

#### ◎管渠等改築更新工事

《国庫補助金・企業債》

令和4年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水道管渠の改築更新事業を行ったほか、下水道管路の改築更新事業に向けた管路調査などを行った。

##### 【主な工事等】

・名寄処理区下水道管渠更生工事	42,471千円
・名寄処理区下水道マンホール蓋更新工事	28,743千円
・風連マンホールポンプ所改築更新実施設計業務委託	5,280千円
・名寄市公共下水道管路更生実施設計業務委託	5,126千円
・名寄市公共下水道管路調査業務委託	13,145千円 ※国庫補助金のみ
・名寄市公共下水道事業内水浸水想定区域図策定業務委託	17,501千円 ※国庫補助金のみ
・公共柵設置工事	770千円 ※企業債のみ
・公共柵取替工事	28,996千円 ※企業債のみ
・公共柵取付工事	671千円 ※一般財源のみ

#### 下水道管渠更生工事



施工前

施工中(パイプ引込)

施工後

◎合併浄化槽設置工事

《企業債・分担金》

合併浄化槽を平成8年度から令和5年度までに562基の整備を行っており、令和6年度には4基の整備を行い、計566基となった。

【主な工事等】

・合併浄化槽設置工事			6,031千円
実施地区	名寄地区	2基	
	風連地区	2基	
人槽別	5人槽	4基	

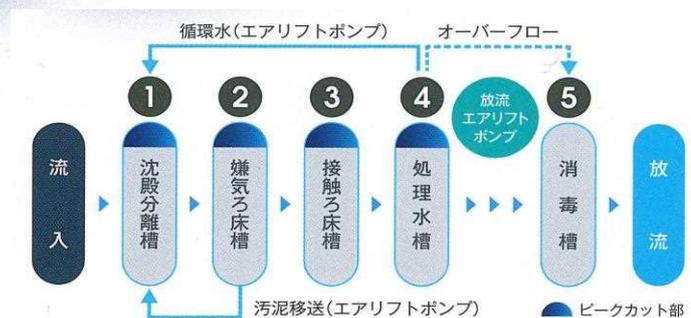
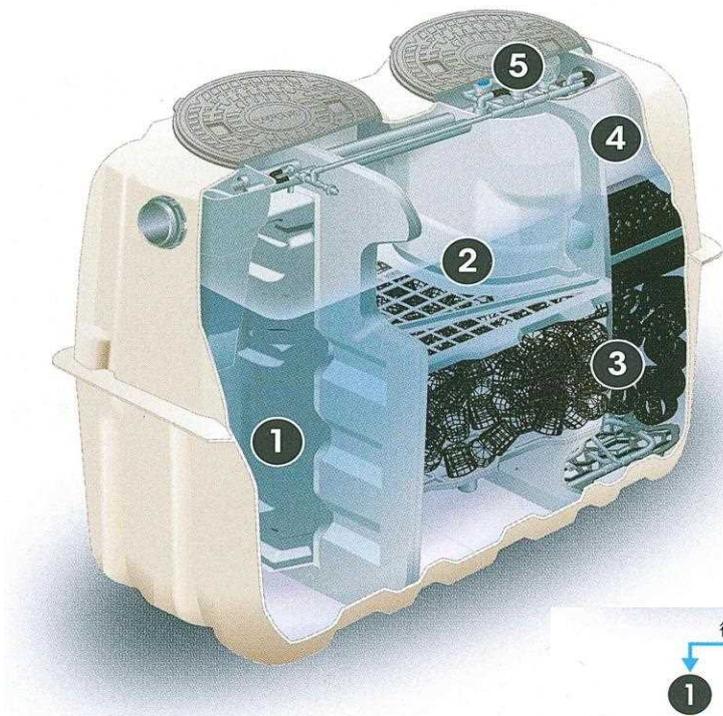
(施工写真①・合併浄化槽(5人槽)本体)



(施工写真②・合併浄化槽(5人槽)設置状況)



合併浄化槽のしくみ



#### (4) 令和7年度の主な建設改良事業

##### ◎名寄下水終末処理場外改築更新工事

《国庫補助金・企業債》

令和4年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水処理施設の改築更新事業を行います。

###### 【主な工事等】

- ・名寄下水終末処理場電気設備更新工事（監視装置） 64,000千円 【2か年工事】
- ・下水処理場施設改築更新実施設計業務委託 7,200千円
- ・名寄市下水道事業ウォーターPPP導入可能性調査業務委託 22,079千円 ※国庫補助金のみ

##### ◎管渠等改築更新工事

《国庫補助金・企業債》

令和4年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水道管渠の改築更新事業を行います。

###### 【主な工事等】

- ・風連マンホールポンプ所電気設備更新工事（計測設備更新） 16,800千円 【2か年工事】
- ・名寄処理区下水道マンホール蓋更新工事 7,000千円
- ・名寄処理区下水道管渠更生工事 7,600千円
- ・名寄市公共下水道事業内水浸水想定区域図策定業務委託 13,200千円 ※国庫補助金のみ
- ・公共樹設置工事 4,060千円 ※企業債のみ
- ・公共樹取替工事 52,160千円 ※企業債のみ
- ・公共樹取付工事 240千円 ※一般財源のみ
- ・名寄市重点調査等事業（調査・設計業務委託） 25,898千円

※下水道ストックマネジメントとは

長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進展状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、下水道施設全体を対象とした施設管理を最適化すること。

###### 公共樹取替



コンクリート製公共樹



塩ビ製公共樹

※下水道事業の実施に当たっては国からの交付金等を活用しており、交付金の動向によっては、事業費の圧縮や未実施となることも考えられます。

##### ◎合併浄化槽設置工事

《企業債・分担金》

下水道処理区域外での生活雑排水等の処理を行うため、合併浄化槽の整備を行います。

###### 【主な工事等】

- ・合併浄化槽設置工事 17,000千円



投資・財政計画  
(収支計画)

(単位:千円)

区分	R4年度			R5年度			R6年度			R7年度			R8年度		
	計画	決算	増減	計画	決算	増減	計画	増減	補正予算	計画	増減	予算	増減	計画	増減
1. 企業費平準化債	222,900	202,800	△ 20,100	197,400	183,800	△ 13,600	219,700	158,900	△ 60,800	227,400	260,700	33,300	222,100		
うち資本費平準化債															
2. 他会計出資金	49,181	49,180	△ 1	48,923	48,922	△ 1	50,085	49,374	△ 711	51,352	49,982	△ 1,370	52,331		
3. 他会計補助金	360	216	△ 144	360	120	△ 240	360	120	△ 240	360	120	△ 240	360		
4. 他会計負担金															
5. 他会計借入金															
6. 固定資産売却代金	169,000	145,432	△ 23,568	145,050	145,448	398	193,500	137,533	△ 55,967	193,000	275,100	82,100	196,000		
7. 固定資産売却代金	1,838	7,102	5,264	1,838	1,484	△ 354	1,838	754	△ 1,084	1,838	14,668	12,830	1,838		
8. 工事負担金															
9. その他	443,279	404,730	△ 38,549	393,571	379,774	△ 13,797	465,483	346,681	△ 118,802	473,950	600,571	126,621	472,629		
(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額															
1. 建設改良費	443,279	404,730	△ 38,549	393,571	379,774	△ 13,797	465,483	346,681	△ 118,802	473,950	600,571	126,621	472,629		
うち職員給与費	442,201	394,120	△ 48,081	391,167	388,811	△ 2,356	455,434	399,768	△ 55,666	455,916	658,158	202,242	471,579		
2. 企業償還金	18,385	15,104	△ 3,281	18,715	14,001	△ 4,714	19,051	15,288	△ 3,763	19,393	15,583	△ 3,810	19,743		
3. 他会計長期借入返還金	424,673	424,673		402,350	404,417	2,067	388,482	386,146	△ 2,336	371,778	363,186	△ 8,592	369,119		
4. 他会計への支出金															
5. その他	1,500		△ 1,500	1,500		△ 1,500	1,500		△ 1,500	1,500	1	△ 1,499	1,500		
(D)	868,374	818,793	△ 49,581	795,017	793,228	△ 1,789	845,416	785,914	△ 59,502	829,194	1,021,345	192,151	842,198		
(E)	425,095	414,063	△ 11,032	401,446	413,454	12,008	379,933	439,233	59,300	355,244	420,774	65,530	369,569		
1. 損益勘定留保資金	402,124	379,742	△ 22,382	380,966	392,742	11,776	358,047	416,853	58,806	333,299	388,908	55,609	346,504		
2. 利益剰余金処分額															
3. 繰越工事資金															
4. その他	22,971	34,321	11,350	20,480	20,712	232	21,886	22,380	494	21,945	31,866	9,921	23,065		
(F)	425,095	414,063	△ 11,032	401,446	413,454	12,008	379,933	439,233	59,300	355,244	420,774	65,530	369,569		
(E)-(F)															
他会計借入金残高	3,648,669	3,611,574	△ 37,095	3,443,719	3,390,957	△ 52,762	3,274,937	3,163,711	△ 111,226	3,130,559	3,061,225	△ 69,334	2,983,540		
企業債残高															

(単位:千円)

区分	R4年度			R5年度			R6年度			R7年度			R8年度		
	計画	決算	増減	計画	決算	増減	計画	増減	補正予算	計画	増減	予算	増減	計画	増減
1. 収益的収支	448,095	466,038	17,943	451,680	438,809	△ 12,871	461,482	488,376	26,894	464,842	498,217	33,375	467,974		
うち基準内繰入金	426,429	401,123	△ 25,306	428,647	418,760	△ 9,887	437,322	467,986	30,664	438,961	472,801	33,840	440,765		
うち基準外繰入金	21,666	64,915	43,249	23,033	20,049	△ 2,984	24,160	20,390	△ 3,770	25,881	25,416	△ 265	27,189		
2. 資本的収支	49,541	49,396	△ 145	49,541	49,042	△ 499	50,445	49,494	△ 951	51,712	50,102	△ 1,610	52,691		
うち基準内繰入金	49,541	49,396	△ 145	49,283	49,042	△ 241	50,445	49,494	△ 951	51,712	50,102	△ 1,610	52,691		
うち基準外繰入金															
合計	497,636	515,434	17,798	500,963	487,851	△ 13,112	511,927	537,870	25,943	516,354	548,319	31,965	520,665		

○他会計繰入金